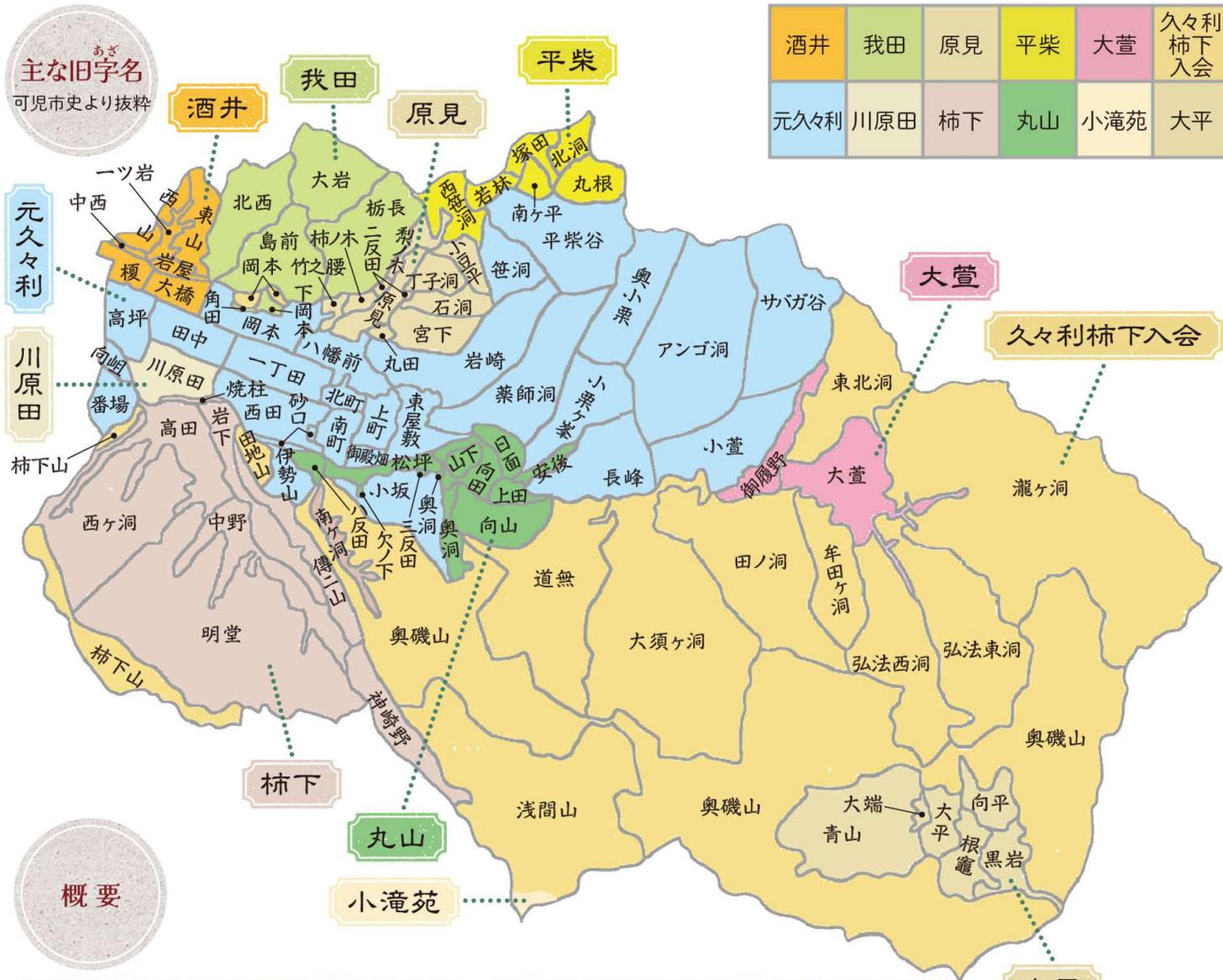


久々利の旧字名と概要

通称地名（集落名）色区分

酒井	我田	原見	平柴	大萱	久々利 柿下 入会
元久々利	川原田	柿下	丸山	小滝苑	大平



主な旧字名
あざ
可児市史より抜粋

概要

人口動向		可児市の統計より抜粋	
2024年(令和5年)	人口 1,581人	665世帯	
2020年(令和2年)	人口 1,629人	648世帯	
2010年(平成22年)	人口 1,782人	569世帯	
2000年(平成12年)	人口 1,921人	525世帯	
1990年(平成2年)	人口 1,913人	455世帯	
1980年(昭和55年)	人口 1,625人	387世帯	
1970年(昭和45年)	人口 1,570人	341世帯	
1960年(昭和35年)	人口 統計なし		
1950年(昭和25年)	人口 1,830人	327戸数	
1940年(昭和15年)	人口 1,270人	254戸数	
1930年(昭和5年)	人口 1,607人	275戸数	

河川長さ
久々利川 7.6km (参考:可児川23.9km)

大規模ため池貯水量
小淵ため池 55万㎡ 柿下ため池 18万㎡
(参考:桜ため池 27万㎡)

山の高さ
浅間山 372m
※市内最標高黒岩林道沿い 377m
(参考:帷子の両見山 340m、土田の鳩吹山 314m)

久々利ふるさとマップの発行にあたって

地区センター講座や地区センター活動を通して、久々利地区にはまだまだ周知されていない多くの貴重な自然資産・文化資産・歴史資産があることを再認識しました。そこで、講座参加者の有志が集まり、「久々利ふるさとマップ作成委員会」が結成され、オリジナルイラストマップを中心にふるさとの自慢と誇りを合言葉として「久々利ふるさとマップ」を作成することになりました。

限られたスペースの中で多くのものを表現しようとしたので解説が十分とはいえませんが、このマップをご覧ください、ふるさと久々利をもう一度見直してみたいかがでしょうか。自慢と誇りを感じることができるかもしれません。

なお、この制作に当たっては、作成委員会メンバーの他に、多くの久々利地区住民の皆さんの情報提供や自治連合会をはじめとする地域団体にご協力いただきました。感謝申し上げます。

協力 岐阜大学地域科学部教授 向井貴彦 (久々利川魚類調査)
美濃加茂市民ミュージアム (トラツグミ剥製写真提供)

発行日 令和6年(2024年)10月20日

発行 久々利地区センター

編集 久々利ふるさとマップ作成委員会
竹谷雅彦 伊藤一志 梶川健善 加藤三省
加藤俊正 熊谷政幸 佐橋宏保 鈴木幹男
松永久彦 富田竹一 小池みなみ

印刷 まなみち創作室